

タイのバタフライピー新加工工場へ出資

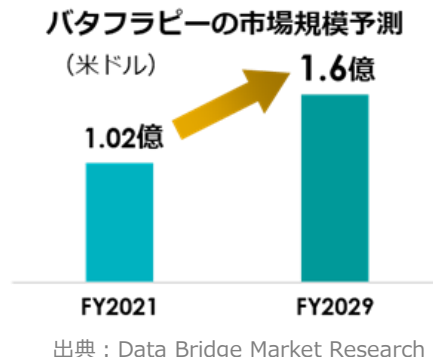
— 青色の食品用天然着色料であるバタフライピーの世界的な拡販に向け、12月下旬に加工工場を稼働開始 —

株式会社G S I クレオス（東京都千代田区/代表取締役 社長執行役員：吉永直明、以下「当社」）は、食品原料開発・生産などを行う日本のメーカーであるツジコー株式会社（滋賀県甲賀市/代表取締役：辻昭久、以下「ツジコー」）が、タイ・バンコクに立ち上げたバタフライピー殺菌粉末加工工場、Anchan Natural Blue Co., Ltd.（以下、ANB）に出資し、同工場の12月下旬からの稼働が決定しました。

今後、世界のバタフライピー粉末市場に向けて、ツジコーとの連携により原料調達から生産、販売までの体制を整備することで安定的な供給を行うとともに、当社のタイ現地法人であるG S I タイランド社を主軸に、当社グループ企業の連携により、同商材を世界的に拡販してまいります。また、本件を機に、G S I タイランド社の資本増強に向けた当社からの増資も今年度内に予定しており、本ビジネスを確実に成長路線に乗せるとともに、当社グループの東南アジア地域における事業体制の強化を図ります。

近年、人々の健康意識の高まりや人工着色料が人体に及ぼす影響への懸念から、食品業界では人工着色料から天然着色料への置き換えが進んでいます。しかしながら、天然着色料の中には退色性や熱耐性などに課題があるものが多く、用途を限定して使用せざるを得ない状況にあります。そうしたなか、バタフライピーは上記の機能に優れており、様々な食品に使用できる青色の天然着色料※であることから、世界中で注目を集めています。また、その市場規模は年々拡大し、2029年には1.6億米ドルにまで及ぶことが予想されています。

※主にジュースなどの飲料、チョコレート、ソフトクリームなどに使用されています。



G S I タイランド社および当社は、この着色料へのニーズをいち早く捉えて、2018年からバタフライピーの乾燥花（エキス末用原料）の取り扱いをスタートし、その納入先であるツジコーとともにバタフライピーの品質向上と安定供給に取り組んできました。そして、この度、ツジコーによる事業拡張に向けたタイ・バンコクでの加工工場新設に当社も資本参加し、同社とのパートナーシップを強化し事業拡大に取り組むこととしました。

ANBは12月下旬の稼働開始を予定しており、G S I タイランド社および当社は、主に原料（乾燥花）の供給および加工後の殺菌粉末の販売を担います。原料の供給に関しては、契約農園との関係性を強め、品質のさらなる向上を図りながら新規農園の発掘と育成に取り組めます。販売に関しては、すでに各国で展開するための認証取得を予定しており、当社グループの各拠点が連携して欧米やアジア市場での拡販を進めます。バタフライピーの世界規模での普及により、同事業を当社の東南アジアビジネスの柱の一つとすべく育成してまいります。



バタフライピー

G S I クレオスは「次代の生活品質を高める 事業の創造者として 人びとの幸せを実現する」というパーパスを掲げ、サステナブルな社会を実現すべく、「環境」「生活・健康」「エネルギー」分野での事業に注力しております。本件もその一環であり、バタフライピーの供給を通じて人びとの健康や幸せの実現に貢献してまいります。

以 上

【Anchan Natural Blue Co., Ltd. の概要】

所在地	No. 952 Ramaland Bldg., 13 Fl., Moo 1, Khwaeng Suriyawongse, Khet Bangrak, Bangkok, 10500, Thailand
代表者	Managing Director 辻 昭久
設 立	2022年5月
資本金	16,500千タイバーツ
事業内容	バタフライピーなどの殺菌粉末の生産および販売

【ツジヨー株式会社の概要】

所在地	滋賀県甲賀市水口町北脇 1750-1
代表者	代表取締役 辻 昭久
設 立	1965年5月
資本金	2,400万円
事業内容	食品原料の開発・生産・販売 照明器具の設計・生産・販売 メカトロ関連の設計・生産・販売 植物工場システムおよび植物育成用LEDの開発・生産・販売

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社G S I クレオス 経営企画部 企画広報課 (Tel 03-5211-1802) 池嶋、谷村